

令和7年度

おおごえ

加須市立大越小学校

未来食体験



第5・6学年

特 色

- 加須宇宙米プロジェクトの一環で、5・6年生が、「未来のご飯ってなんだろう」という学習課題に基づいた特別授業を行った。大学教授の指導の下、宇宙でおいしく栄養を摂るために、植物性の材料から動物性食品の味や食感を生み出す技術を開発する意義や苦労について学んだ。授業後は、世界初の試食！実際にシェフに創っていただいた未来のだし汁、いくら丼、カレーライス等を味わった。

児童の感想

- 動物性、植物性の違いをしっかりと学べた。改めて宇宙についてもっと知りたくなった。
- 違う食材を使ってメロンなどの味ができるのがおもしろいと思った。自由研究などでもっとやってみたいと思った。
- 新しい技術を広めるには、分かりやすく伝える工夫も必要だと分かった。
- 本物に近い味の再現など、今の日本の技術はすごいと思った。

成 果

- ふだんの授業では学べない、貴重な体験をすることができた。
- 本時の学習とこれまでの加須市宇宙米プロジェクトでの活動や体験を結びつけて考え、興味や関心を広げることができた。
- プレゼンテーションの重要性に気付くことができた。
- 試食を通して、日本の技術のすばらしさを実感できた。